



2024年7月2日

ホームと反対側のドアが一時的に開いた事象について

2024年7月1日15時42分頃、札幌 15時48分発 新千歳空港行き快速エアポート132号において、札幌駅停車中にホームと反対側のドアが一時的に開く事象が発生いたしました。

転落などによるお客様及び乗務員のけがはありません。

ご利用のお客様に大変ご不便とご心配をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

- 発生日時 2024年7月1日（月）15時42分頃
- 発生場所 札幌駅構内 5番ホーム（札幌市北区北6条西4丁目）
- 列車名 札幌 15時48分発 新千歳空港行 快速エアポート132号
721系6両編成（定員497名 乗車約400名）
- 概況 本列車の車掌は、札幌駅でホーム側のドアを開いた状態で発車準備中に、本来鳴らないはずの、ドアが開く際に鳴るチャイムが鳴動するのを認めました。車掌がホームと反対側のすべてのドアを確認しましたが異常がなかったため、当該列車は札幌駅を約7分遅れで発車しました。しかしながら、ホームと反対側のドアが開いた可能性があることから、車両の点検を行うため、当該列車は新札幌駅でお客様に降車いただき、前途運休としました。
その後調査したところ、ホームと反対側のドアが一時的に開いていたことが判明しました。
- 影響列車 【7月1日】運休33本（エアポート：16本、普通：17本）
影響人員 約10,000名
【7月2日】運休3本（普通：3本）
影響人員 約2,000名
- 推定原因 車両に何らかの不具合が発生し、ホームと反対側のドアが一時的に開いたと思われませんが、詳細調査中です。
- 対策 事象発生後ただちに同じ形式の車両の運行を取りやめ、緊急の点検を行い、異常がないことを確認しました。なお、今後は当該車両の調査を進め、必要な対策を取ってまいります。